

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所敷地南側の地形に関する面談
2. 日時：令和4年8月23日（火）13時30分～14時15分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
竹内室長、正岡管理官補佐、佐藤管理官補佐、石井係長、
横山係長（WEBによる出席）

技術基盤グループ地震・津波研究部門
林技術研究調査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
東京本社 2名（WEBによる出席）
福島第一原子力発電所 4名（WEBによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、東京電力福島第一原子力発電所（以下「1F」という。）敷地の南側に位置する地形の調査結果について、説明を受けた。
 - 本件は、本年4月8日に実施された石渡委員による1F現地調査において、委員から1F敷地の南側に位置する地形に地すべりが発生していたと推定される旨の記述が文献にあったことから、当該位置の地形について確認した方がよい旨の指摘を受け、調査を行ったもの。
 - 当該位置を含めた区域の地質調査については、平成25年及び平成30年に環境省において実施されており、その報告書によると、当該位置の緩斜面は上部と中部・下部がそれぞれ異なる段丘堆積物で構成されていることから、高さが異なる段丘面と考えられること、それらの堆積物を厚さの異なるローム層が被覆していることから地形の形成時期は古く、最近形成された表層地すべりの可能性は低いと考えられるとしている。
 - 東京電力としては、環境省の調査結果も踏まえ、石渡委員より指摘のあった地形は、高さが異なる段丘面であり、地形の形成時期も古いことから地すべりがあったものとは考えていない。
- 原子力規制庁は、上記の説明内容を確認した。

6. その他

- 福島第一原子力発電所敷地南側の地すべり地形に関するご指摘について
- 参考にした調査孔のボーリング柱状図及びボーリングコア写真（平成25年調査報告書及び平成30年調査報告書より）